

役員会記録

(令和5年4月27日)

出席者

白倉 賢二、村上 博和、込谷 淳一、小山 徹也、鯉淵 典之、松崎 利行、鈴木 忠、村上 正巳、浅尾 高行、大山 良雄、半田 寛、小和瀬 桂子、小湊 慶彦、木谷 泰治、長嶋 起久雄、山田 邦子、都築 靖、飯野 佑一、高橋 育、斎藤 龍生、長谷川 正俊、塚田 義人、小林 靖子、三島 敬一郎、学友会2名

報告事項

1. 法人のその後の活動について

鈴木理事長から、前回の役員会から本日までの間は、特段の行事等はなかった旨の報告があった。なお、令和4年度の賛助会員は、個人会員52名、法人会員39名との紹介があり、新年度に当たり賛助会員加入のお願いがあった。

2. 令和5年度新入生オリエンテーションについて

白倉会長から、4月6日(木)13:15から刀城会館ホールにおいて開催した令和5年度新入生オリエンテーションについて、主催者側からは白倉会長、猿木副会長、小山副会長、鯉淵副会長、松崎幹事長、岸教授、田中教授、岡部シニアレジデント、泉研修医の9名が出席し、新入生と活発な質疑応答が行われた旨の報告があった。

なお、来年以降の本オリエンテーションの在り方について、時間配分や出席者等を見直し、同窓会の主体性を発揮したい旨の発言があった。

3. 群馬大学同窓会連合会役員会について

白倉会長から、4月7日(金)17:30分から開催した群馬大学同窓会連合会役員会について、役員の新任や会則の一部改正等を審議し、原案どおり承認された旨の報告があった。

なお、その後の懇談会では、各学部の同窓会間の交流が深まり、全学同窓会の発展に有意義なものであったため、今後も交流を深める場を設けていきたい旨の発言があった。

4. 群馬大学同窓会連合会と群馬大学との懇談会について

白倉会長から、資料1に基づき、4月24日(月)15:00から荒牧キャンパス本部管理棟5階大会議室にてオンライン(Zoom)併用で行った群馬大学同窓会連合会と群馬大学との懇談会について、大学からは寄付金の要望等の話があった旨の報告があった。

また、大学が計画している創基150周年記念事業について、学生主体の学園祭と同日に行うメリットやデメリット等について、種々の意見交換を行った。

5. その他

会員の逝去について

松崎幹事長から、会員の逝去について報告があり、白倉会長より物故会員へ黙祷を捧げた。

下 山	洌	先生	(昭和40年卒)	令和4年	7月14日	逝去
橋 内	章	先生	(昭和53年卒)	令和4年	9月21日	逝去
岡	一 明	先生	(昭和25年卒)	令和5年	2月 4日	逝去

塚 越 正 夫 先生 (昭和30年卒) 令和5年 4月 4日 逝去
大 木 一 郎 先生 (昭和34年卒) 令和5年 4月20日 逝去

審 議 事 項

1. 同窓会刀城クラブ規則集(案)について

村上副会長から、前回の役員会において、本役員会までに修正等の意見徴収をしていたが、特段の意見が無かったため、一応、確定としたい旨の発言があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、本規則集の制定については、理事会において、役員会での制定を一任されたため、本日付けで制定することとした。

また、実務において規則運用上の気づいた点等があれば随時意見を受け付けることとし、字句の誤り等の軽微な修正については、会長に一任することとした。

2. 第70回北関東医学会総会同窓 会推薦講演演者について

小山副会長から、資料2-1、2-2に基づき、第70回北関東医学会総会同窓会推薦講演演者について説明があり、学術委員会(メール会議)において、横濱章彦先生(輸血部准教授(平成4年卒)輸血部長)を推薦する旨の提案があり、審議の結果、承認された。

3. 学術集会補助金について

小山副会長から、資料3-1に基づき説明があり、本学術集会は、個人的なイベントに該当し、事業計画書、収支予算書を提出したことにより、制定後の学術委員会規程第6条第4項の第8号に該当すると判断できるため、審議の結果、5万円の補助で承認された。

学術集会名：MED ぐんま2023

期日・場所：5月14日(日)、群馬会館(前橋市大手町2-1-1)

申 請 者：桐生厚生総合病院 副院長 岡田克之

続いて、小山副会長から、資料3-2に基づき説明があり、本学術集会は、日本医学会分科会に所属しない、参加者の予定が約500人以上の場合に該当し、制定後の学術委員会規程第6条第4項の第7号に該当すると判断できるため、審議の結果、10万円の補助で承認された。

学術集会名：第87回日本皮膚科学会 東部支部学術大会

期日・場所：9月30日(土)～10月1日(日)、盛岡市民文化ホール(マリオス)、岩手県民情報交流センター(アイーナ)

申 請 者：岩手医科大学皮膚科学講座 教授 天野博雄

引き続き、小山副会長から、資料3-3に基づき説明があり、本学術集会は、日本医学会分科会に所属する、参加者の予定が約500人未満の場合に該当し、制定後の学術委員会規程第6条第4項の第7号に該当すると判断できるため、審議の結果、10万円の補助で承認された。

学術集会名：日本国際保健医療学会 第37回東日本地方会

期日・場所：7月1日(土)、新宿区戸山1-21-1国立国際医療研究センター(一部オンライン配信)

申請者：国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリア研究部長
狩野繁之

4. 会報編集状況について

大山会報編集委員長から、資料4（会報270号5月31日発行予定）に基づき、編集状況の説明があり、審議の結果原案どおり承認された。

5. その他

小湊顧問から、机上配布資料に基づき、医学部医学科の開設科目である「医系の人間学」について、マスコミ報道の経緯とそれに対する医学部の対応等の説明があり、出席構成員等で意見交換を行った。

- ・次回開催日時等について、令和5年5月18日（木）19：00～〔刀城会館〕